ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

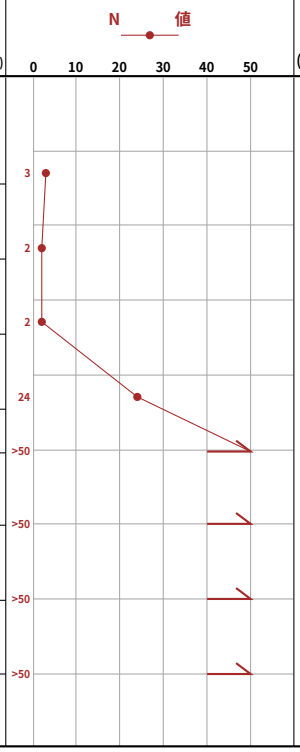
シートNO.

ボーリング名	No.3（堰堤右）	調査位置		北　緯	36 ° 38 ’ 57.0000 ”
発注機関	栃木県烏山土木事務所　整備部	調査期間	2010-01-26 ～ 2010-01-27	東　経	140 ° 08 ’ 22.0000 ”
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	130.25 m	角度	上 180° / 下 0°　90°　0.00 °	方向	北 0°　90° 東　南 180°　270° 西 .00 °
総掘進長	8.02 m	地盤勾配	鉛直 90°　水平 0°　15.00 °	使用機種	試錐機 / ハンマー落下用具 / エンジン / ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	128.45	1.80	1.80		表土(有機質シルト)(MO)	黒褐		軟	含水量中位,粘性中位 植物根を混入		
2	127.65	0.80	2.60		軽石(Pm)	黄褐～暗赤褐		極軟	火山性の軽石であり七本桜・今市軽石に類似 粒径φ1～3mm程度で一部は粘土化している		
3	126.45	1.20	3.80		礫混じり粘土(CH-G)	灰褐		極軟	腐植物，有機物を不規則に混入している 含水量はやや多く粘性大きい φ10～20mmの礫混じる		01/27 3.80
4	125.95	0.50	4.30		粘土混じり砂礫(GS-C)	灰褐	中ぐらい		φ10～50mmの角礫が主体とする 粘土混じり砂礫層 礫間は砂・粘土にて充填されている		
5					凝灰角礫岩(Tb)	赤褐～暗青灰			風化～やや風化している 割れ目が多く，割れ目に沿って風化変質が認められる コアは礫状～短柱状コア主体 最大コア長L=300mm程度 4.3～5.0m間は赤褐色を呈し，風化している。CL級に分級 5.0～8.0m間は暗青灰色を呈し，やや風化している。CM級に分級		01/26
8	122.23	3.72	8.02								01/27

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0–10	10–20	20–30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1 / 14	1 / 8	1 / 8	3 / 30	3
1.45					
2.15	1 / 21	1 / 9		2 / 30	2
2.45					
3.15	1 / 18	1 / 12		2 / 30	2
3.45					
4.15	6	8	10	24 / 30	24
4.45	50 / 4			50 / 4	>50
5.00					
5.04					
6.00	50 / 1			50 / 1	>50
6.01					
7.00	50 / 1			50 / 1	>50
7.01					
8.00	50 / 1			50 / 1	>50
8.01					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日